

# 2022年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
06010102

## 1. 計画名称

茅野市公共施設等総合管理計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通)公共施設維持管理においては「保全指針」に基づき順調に取り組んでおり、長寿命化に関しても優先順位の中で適切な改修等が実施されている。 一方で、公共施設再編計画では本年度中に全ての施設について方向性決定の予定であったが、半数以上の施設について検討が進まない中、本年度決定した行財政改革基本方針も加えて、所管課での方向性決定を促してきた。
今後の重点化施策番号	3	説明	第6次総合計画の推進に当たり、行財政改革が最重要手段の位置づけであるため、当計画の推進を重点化することは必須。 さらに、行財政改革基本方針等の推進及び当計画中間見直し時期(R7)に向けた短期的な取組として、維持、統廃合、再利用、売却などの実施又は方向付けをし、計画期間内に保全指針・長寿命化と擦り合わせ、質の向上と効率化を図る必要がある。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安全・安心の確保(2)	おおむね順調	(R4評価)所管課を対象に、日常的な定期点検実施の説明会を開催した。公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し、安全で安心して利用できる状態を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストの削減を図る。 (総括評価)保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。	(R4・総括評価共通)公共施設は、安全で安心して利用できる状況を維持する必要があるが、古くなった施設をこれまでどおり維持管理するには、これまで以上の費用が必要となってくる。今までどおりの維持管理を続けると、結果として公共施設の荒廃や事故に繋がりが住民の安全や安心が脅かされる。	所管課による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理する。また、茅野市公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し施設維持に努め、安全で安心して利用できる状態を維持する。
2	長寿命化の推進(3)	おおむね順調	(R4評価)米沢、泉野、湖東小の防水や外壁等の改修、高圧受変電設備更新(米沢、玉川、泉野、豊平小、東部中、総合体育館、八ヶ岳総合博物館、アクトランド)、地下タンク改修工事(北部中、玉川保、スケートセンター)を実施しました。 (総括評価)保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。	(R4・総括評価共通)屋根や外壁及び設備機器について優先順位付けを行い実施している。電気や消防系の設備については、施設の機能停止に直結する可能性があるため、公共施設再編計画の結果を待たない場合がある。建築系は方向性が定まっていない施設に長寿命的な改修を行えない状態です。	各施設の点検結果の情報を一元化したうえで、優先度を点数化し、優先順位付けを行い、長寿命化やライフサイクルコストの削減を目指します。また、公共施設再編計画で施設の方向性が定まっていない施設については、優先度の結果を共有するとともに方向性の早期決定をお願いしていきます。
3	施設総量の削減(1)	おおむね順調	(R4・総括評価共通) 公共施設の廃止や譲渡により計画策定時の2018年から2022年末までに合計2,417㎡の面積を削減した。	(R4・総括評価共通) 公共施設再編計画で示した今後の方針とスケジュールについて、担当課が中心となり検討を進め、今後の行政サービスや施設そのものの方向性を明確にし、譲渡や廃止等により施設総量削減につながるよう適正な進行管理が必要です。	令和2年度末に策定した公共施設再編計画の中で、機能や性能の方向性が譲渡・廃止としている施設については、適切な進捗管理を行っていく。検討している施設は、担当課に定期的に状況を確認し、方向性を決定する。

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		